

第九たいはず *Beethoven*

No.8 2016.7.21. 通刊1198号 担当 Kei

ホームページ: www.takasaki9.com メールアドレス: takasaki9@myad.jp

〒370-0863 高崎市聖石町9-13(赤羽方) TEL/FAX: 027-322-0996 緊急 090-1828-8052(小野里)

子供たちは今週で授業も終わり、待ちに待った夏休みに入ります。梅雨はまだ明けていないようですが、大人たちは体調を整え、これから始まる暑い夏を乗り切りましょう！

◆ 先週のおさらい

<ひいらぎ飾ろう>

- ・P19 下の段  5小節目から始まりますが、スタッカートで歌いましょう。
- ・P20 上の段 3小節目も同じです。
- ・P20 下の段 1小節目「ラララ」は小さく、2小節目からはレガートで。5小節目の「ラララ」はスタッカートで。
- ・P21 下の段  から2番に入りますが、軽やかに歌いましょう。
- ・P25 4小節目の  音が乱れないようにPで。

◆ 新入団員歓迎会



先週14日練習後に、新入団員歓迎会がありました。新任運営委員の大崎さんと矢島さんの司会の下、新入団員の方が一人ひとり自己紹介を行い、第九の仲間入りをしました。

最後に矢島さんの鉢巻き姿でのエールで盛り上がり、合唱団の心が一つになりました。



◆ 「メイコンサート2016」写真の引き換えが始まります

プロカメラマン井田写真館さんが撮影したメイコン写真のお渡し(代金と引き換え)が始まります。

◆ 出席簿には必ず押印しましょう

練習会場入り口においてあります。会場に来たらすぐに押印してくださいね。練習が終わると担当者が空欄に斜線を引いていきます。後で「私この日来ましたよ」等のお申し出があっても押し直すことはできません。演奏会までお休みしなかった人には皆勤賞のご褒美がありますよ。ぜひ皆勤賞を目指して練習に参加しましょう。

◆ 団員証をお渡しします

団員登録した人には連絡の時間に赤羽団長から団員証をお渡ししています。人数が多いので何週かに分けてお渡ししますのでご承知おきください。

◆ 名札をつけましょう

新人さんも加わって130名の大所帯になりました。お互いに名前を覚えられるように、名札をつけてください。できるだけ大きな文字で、呼んでほしい名前を書きましょう。

◆ 練習用CD販売中です

◎「クリスマスメドレーⅣ」+「ハレルヤ」パート別練習用CDを作成しました。

「クリスマスメドレーⅣ」は、木村先生(ソプラノ)、岸先生(テノール)に新たに歌って頂きました。前回(2012年)に作成のアルト(木村先生)、バス(住谷先生)もあり、全パート揃いました。@200円で希望者にお分けしています。ご希望の方は受付(バス大里さん)まで。

◆ 今後の予定(毎週木曜日、演奏会までは祝日も練習があります。)

8月21日(日) サマーレッスン(シンフォニーホール10~16時)・納涼祭(からっ風)
11月5日(土)~6日(日) 軽井沢レッスン(武蔵野音大軽井沢研修センター)
11月24日(木) 指揮者レッスン(渡邊一正氏が練習会場で指導します)
12月10日(土) 第43回第九演奏会(群馬音楽センター)

◆ 8月21日(日) サマーレッスン・納涼祭の参加申し込み受付中♪

10:00~16:00 全曲のパート練習及び全体練習。会場はシンフォニーホールです。
昼食について、デリバリーの幕の内弁当(650円)を注文することになりました。希望の方は申し込み書に代金を添えて、申し込みをお願いします。締め切りは8月11日(木)です。
飲み物は各自でご用意ください。(お弁当を頼まれない方はご自分で昼食の用意をお願いします)
♪サマーレッスン担当:湯澤さん 都丸

17:00~ 暑さを吹き飛ばす『納涼祭』。今年は会場を「からっ風」に移しました。

参加費@3500円。居酒屋風料理と、飲み放題で貸し切り。食べて飲んで歌って楽しく過ごしましょう。
♪納涼祭担当:阿藤さん 大里さん

◆ 8月21日(日)の駐車料金について

上記のサマーレッスン、納涼祭のために皆様には一般の有料駐車場を利用していただくこととなりますが、その駐車料金を上限1,000円まで団が負担致します。

必ず**領収書を保管**し、8月25日(木)の練習日に適当な封筒に入れて持参してください。

封筒の表に「パート・氏名・支払った駐車料金」を明記し、封筒の中に領収書を入れて受付に提出してください。翌週以降支払った実費をお支払い致します。(ただし1,000円以上の場合は1,000円となります。)

◆ 「高崎発、グッドデザインぐんま選定」に選ばれました

ソプラノの入沢洋子さんの作品が選ばれましたので、紹介いたします。

かあどほるだあ あるて表装 工房あい (八千代町)



「かあどほるだあ」は、絵を保管するための折り画帖をアレンジしたカード入れ。診察券、ポイントカードなど18枚を、蛇腹の各面に収納できる。あるて表装工房あいの入沢洋子さん(68)が「探しやすいさを第一に考えた」と言うように、広げると一目瞭然で必要なカードを取り出せる。

入沢さんは25年前、子育てが一段落したことをきっかけに、憧れだった表装の講座に入会した。師匠の作品に感銘を受けてのめり込み、さまざまな技法を習得して、2003年に自宅に工房を構え、夫の範一さん(73)と活動を開始した。伝統表装の技術を用い、現代の住宅に合うモダンなデザインで掛け軸などを制作している。

かあどほるだあは5年ほど前、知人から「カードがすぐに取り出せるカード入れがほしい」という依頼で制作した。折り画帖を小さくしたミニアルバムを以前から作っていたため、時間はかからずに、軽くてコンパクトなカード入れが完成した。

ポイントはサテン生地の表紙に押した桜の箔。表装で使う箔押しという技法で花びらをデザインした。表紙の色はピンク、ゴールド、焦げ茶の3色で、各972円。同工房やJR高崎駅イーサイト高崎内の群馬いろはで販売している。同工房(☎027・323・6775)。

すぐ取り出せる工夫

折る箔。表装で使う箔押しという技法で花びらをデザインした。表紙の色はピンク、ゴールド、焦げ茶の3色で、各972円。同工房やJR高崎駅イーサイト高崎内の群馬いろはで販売している。同工房(☎027・323・6775)。

折り画帖をアレンジした、かあどほるだあ